

▶製品への反映については  
34～41ページ「性能別製品一覧」も  
ご確認ください。

# 衝撃吸収性（転倒時の安全性）

## ■建物を利用する方の安全性に関わります

床材には、利用する方が転倒した際に頭部などに強い衝撃を受けないよう、衝撃を吸収する性能が求められる場面もあります。発泡層により衝撃を吸収する性能を高めた床材や、同じく発泡層のある下貼り材などでこの性能を高めることができます。

### ▶衝撃吸収性が必要となる要因

病人や体の不自由な方の転倒時の危険性

幼児・児童の転倒時の危険性

### ▶衝撃吸収性を必要とする場所

- 病室
- 医療施設、福祉施設の廊下
- 医療施設、福祉施設のリハビリ室
- 福祉施設の居室
- 幼稚園、保育園の教室、廊下

など

## ■衝撃吸収性の分類

### 衝撃吸収性が高く、転倒時の安全性に配慮した製品に表示



#### 〈POINT〉

- ・床材の衝撃吸収性はG値（転倒時の衝撃加速度）で表されます。日本建設学会では、転倒衝突時の安全策の目安として、G値100以下の床を推奨しています。
- ・G値が小さいほど安全性に優れますが、床材としては厚く、柔らかくなる傾向にあります。
- ・移動荷重性等の性能にも配慮した床材の選択が大切です。

## ■各種床材の衝撃吸収性（転倒衝突時の衝撃加速度：G値）

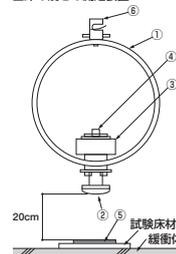
床材	厚みmm	0	30	60	90	120	150	180
ビニル床タイル Pタイル	2.0	160						
発泡層のないシート パーマリウムEM	2.0	150						
衝撃吸収システム タスクレイシステム(タスクU+パーマリウムEM)	6.0	99						
発泡層のあるシート メディウエル	2.0	135						
発泡層のあるシート ACフロア28	2.8	120						
発泡層のあるシート ACフロア35	3.5	115						
発泡層のあるシート ACフロア60	6.0	90						
衝撃吸収システム タスクレイシステム(タスクU+AC28)	6.8	92						
衝撃吸収システム タスクレイシステム(TS30E+AC28)	5.8	98						
衝撃吸収システム タスクレイシステム(TS50E+AC28)	7.8	89						
カーペットタイル タピス セレクトPlus	6.5	115						
衝撃吸収システム カーペット用タスクレイシート+セレクトPlus	10.0	90						
リノリウム マーモリウム	2.5	145						
参考 木質フローリング	-	140						
参考 コンクリート	-	160						

※この数値は測定値であり、保証値ではありません。

### 試験方法（JIS A 6519「体育館用鋼製床下地構成材」の床の硬さ試験方法に準拠）

ゴム板が置かれた床材の測定点に、高さ20cmから、加速度計を内蔵した質量3.85kgの頭部モデルを自由落下させ、床に衝突したときの加速度の最大値を測定し、転倒衝突時の硬さ(G)を求める。

■床の硬さの測定装置



番号	名称
①	鋼製フレーム (外径216.3mm、厚さ8.2mm、幅40mm)
②	鋼製ヘッド (曲率半径50mm、直径50mm)
③	おもり(1.34kg)
④	加速度計
⑤	ゴム板(厚さ8mm、ショアA硬度37、 大きさ300×150mm)
⑥	つり金具